

三宅藤兵衛 [1581年～1637年]

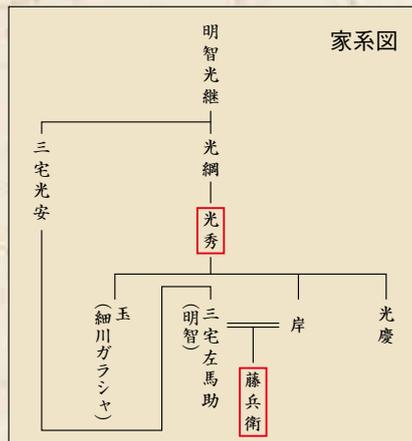
NHK大河ドラマ「麒麟がくる！」の主人公明智光秀。天草にはその孫である三宅藤兵衛が生き、戦で倒れた歴史があります。

光秀の娘「岸」と明智家の重臣「三宅(明智)左馬助」との間に生まれた藤兵衛。両親が亡くなった後、叔母である細川ガラシャ(明智玉)の元で養育されたとされています。その縁で細川家に仕えた後、唐津藩の寺澤廣高の家臣となり、天草富岡城(荅北町)の城主として天草全島を統治しました。

寛永14年、藤兵衛は島原・天草一揆で唐津藩の大將として、天草四郎率いる一揆勢と本渡で激突。奮戦の末、本渡町広瀬で討ち死にしたと伝わっています。藤兵衛のお墓は今も広瀬地区の共同墓地内に残されています。



▲三宅藤兵衛の墓



明智光秀の孫が天草にいた!

天草キリシタン館企画展

『天草を治めた光秀の孫  
～仁義の侍 三宅藤兵衛～』

「細川忠興から藤兵衛への書状」や「寺澤廣高からの知行目録」など天草初展示となる三宅藤兵衛ゆかりの貴重な資料を一堂に集めた企画展。ぜひお見逃しなく!

とき 10月14日(水)～12月21日(月)  
8:30～17:00  
※入館は16:30まで

ところ 天草キリシタン館(船之尾町)

入館料 一般300円/高校生200円  
中学生以下150円  
※20人以上は2割引

※現在開催中の歴史トピック展示「明智光秀の孫たち～細川忠利と三宅藤兵衛のルート～」(10月7日(水)まで)を企画展前にご覧になるともっと楽しめるはずです。

問 天草キリシタン館  
☎22-3845(火曜日休館)



▲唐津城三ノ丸出土家紋瓦(唐津市教育委員会所蔵)



▲三宅藤兵衛石灯籠建立の趣意書(熊本県立美術館所蔵)